

2023年3月18日(土)

株式会社ゼスト

SKE48 荒井優希 アジャcongとのシングルマッチで悔し涙 アジャ「今後の彼女がより恐ろしくなりました」

名古屋・栄を拠点に活動する SKE48 のメンバー 荒井優希が本日、有明コロシアムで行われた東京女子プロレスの大会に出場。アジャcongとの初のシングルマッチでなんとか食らいつきながらも敗れ、悔し涙を流しました。



本日、東京女子プロレス初の“格闘技の聖地”有明コロシアムでの大会で、荒井は女子プロレス界のレジェンド アジャcongとの初のシングルマッチに挑みました。2021年5月にプロレスデビューした荒井は、同年10月にタッグマッチ（渡辺未詩&荒井優希組 VS アジャcong & 宮本もか組）でアジャcongと初対戦し完敗。その悔しさで、プロレスを続けていくことを決意。先月18日に名古屋で行われた前哨戦となるタッグマッチでは山下実優とタッグを組み、アジャcong & 宮本もか組に勝利しましたが、アジャとの力の差は明らかでした。

荒井はこの日のために気合を入れて用意した新コスチュームで登場。会場から「荒井！」の声援が響く中、大きな体格差のあるアジャに立て続けにドロップキックを浴びせていきます。さらに続けてパンチを連発するも、アジャからの強烈な一撃で吹っ飛ばされてしまいます。なんとか立ち上がり、平手打ちで飛ばされても食らいつき、アジャからの攻撃をすり抜け、顔面キックで反撃。コーナーポストから初のミサイルキックを決めました。さそり固めを狙いますが阻まれ、コーナーポストの上から Finally（かかと落とし）を決めると、続けて3発、さらに場外のアジャヘブロンから Finally を直撃させ、得意技を出し惜しみせず攻撃していきます。ダメージを受けたアジャが場外カウント19ギリギリでリングに戻ると、さらに Finally を狙いますがかわされ、アジャからの容赦ない反撃が始まりました。一斗缶攻撃を脚に2発、さらに頭に1発受けて倒れると、パイルドライバー、バックドロップと重量感ある攻撃でカウントを取られます。なんとか起き上がりましたが、最後は倒れ込み式リアアットから垂直落下式ブレーンバスターで3カウントを聞きました。

試合後、リング下で倒れ込んだ荒井にアジャが歩み寄り、「またやろうぜ」と声をかけると、荒井は悔し涙を流しながら応えました。アジャは「あんなにいろんな角度でいろんな感じで Finally 受けた人は今までいないですね。キツイですね、やっぱり。特にコーナーからのとエブロンからのやつはちょっとまずかったね、ドンビシャすぎて」と苦笑い。まさかそこまで追い込まれるとは思ってなかったので、「またやろうな」と声をかけた話し、「彼女がこれを経てどんな変化をするのか、どんなふうになっていくのか、今後の彼女がより恐ろしくなりました」と評しました。荒井は、「すごく差があるっていうのはわかってたし、でもその中でも自分が勝つことを信じてくれる人もいたので、どんな形でも勝たかった」と悔しさをにじませ、「でも最後にアジャさんが「またやろう」って言ってくれたので、次はもうホントに勝ちたいし、いつになるかわからないけど絶対もっと成長してアジャさんを驚かせたいし、観てる人を驚かせたい」と意欲を見せました。引き続きご注目ください。

【荒井優希 コメント】

全部の試合でももちろん勝ちたいと思ってるし、ずっとそういう気持ちでリングに立ち続けてるんですが、今日はめっちゃ悔しかったです。すごく差があるっていうのはわかってたし、でもその中でも自分が勝つことを信じてくれる人もいたので、どんな形でも勝たかったんですけど、やっぱり今の自分にはまだ届かないっていうのを改めて感じて。でも最後にアジャさんが「またやろう」って言ってくれたので、次はもうホントに勝ちたいし、いつになるかわからないけど絶対もっと成長してアジャさんを驚かせたいし、観てる人を驚かせたいと思いました。

(今日の試合をして)

すごく不思議なんですけど、まだ今はなにが変わったかは厳密にはわからないんですが、確実にになにかすごく心が動かされた試合ではあったので、いつかそれがなんだったかというのがわかるかもしれないです。でも振り返った時に、この試合があったからと言えるような試合になったんじゃないかなと思います。

(Finally をたくさん出したことについて)

今までずっと最初からやらせてもらっている技ですが、今日は初めてコーナーからの Finally だったり、エプロンからの Finally をやりました。考えて考えて、自分にはアジャさんを持ち上げることが難しいというのは過去 2 回 (の対戦) ですごくわかってたし、大事にしてきた Finally で勝ちたいというのが強かったので、いろいろ出してみました。

(アジャコングのピンタを受けて)

最初に受けた時よりも痛くて。それは記憶が薄れているからなのか、アジャさんが前よりもっと認めてくれているからなのかかわからないですけど。私はポジティブなので、認めてくれたということにしたいと思います。

【アジャコング コメント】

シングルは初なんですけど、過去 2 回やっていて最近では 1 ヶ月前にやったので、ある程度手の内はわかってたなと思いますし、彼女はあと 1 ヶ月で成長を見せまうと言っていましたけど、下手な小細工を使わずに、真向勝負で来たんだなと。自分の持てるスペシャルなもの Finally をどれだけアジャコングに叩き込むかというのが彼女が選んだ道で。ある意味そこは正解だったのかなと思いますけど、その彼女の作戦が見えた時に食らおうがなにしようがどうやって逃げて回復するかということを瞬時に自分の中で考えられたので、あれだけ食らっても勝機は見えるなと思ってました。とはいえ、あんなにいろんな角度でいろんな感じで Finally 受けた人は今までいないですよ。キツイですよ、やっぱり。特にコーナーからのとエプロンからのやつはちょっとまずかったね、ドンピシャすぎて。まさかあそこで来るとは思わなかったの、ちょっと油断しましたね。場外で反撃したので、さあここからお仕置きタイムと思ったら、あそこが一番まずかったところかな。でもあそこで息は整えられたので。そこからあの状況だったら Finally 狙ってくるだろうとリングに上がった時点でわかったので、そこを追撃できたのはよかったなと。そこからはもうこっちのペースだなと思ったので。でももっといろんな小細工してくるかと思ったんですけど、対等に自分の持てるもので来るというのが彼女の今回の選択だった。次「もう 1 回やろうな」って、私もまさかこんなに正直追い込まれるとは思ってなかったの、これでは終わりたくないなと思って「またやろうな」とは声をかけたんですが、次どんな作戦で来るのかがかえって読めなくなったので、ちょっとより一層怖くなりましたね。今後彼女がこれを経てどんな変化をするのか、どんなふうになっていくのか、それによってだと思えますけど、今後の彼女がより恐ろしくなりました。

もうちょっと圧勝できてたら「(プロレスの) 顔じゃねえよ」くらい言ってこようかと思ってたんですけど、あれだけ追い込まれたので。私も勝つには勝ちましたけど、納得いかないの、叩き潰すまでやりたいなと。なのでもし次あたることがあれば、お互いまた、違った感情の持ち方でやれるんじゃないかなと。長年やってきてるんである程度やる相手とは自分の中でいくつかの戦略が立てられるんですけど、彼女との次を考えたときにその戦略が今まだ思い浮かばないですね。何で来るかわからないから。読めない。

(荒井の成長について)

前回の名古屋から 1 ヶ月じゃまだそんなにかもしいないんですけど、最初のタッグの時に比べれば、そりゃ当然、成長しない方がおかしいし、成長しない人がタッグのベルトのチャンピオンにもなれないだろうし、プロレス大賞の新人賞も獲れないだろうし。成長速度はものすごいなと思いますし、多分これからもっともっとすごいスピードで成長していくんだらうと思いますし。その成長に引き離されないように頑張っていかなきゃいけないなと思いました。

<本日の試合>

■「GRAND PRINCESS '23」

2023 年 3 月 18 日 (土) 開場 14:00 開始 15:00

会場：東京・有明コロシアム

第七試合 スペシャルシングルマッチ 20 分一本勝負

○アジャコング vs 荒井優希●

13 分 0 秒 片エビ固め ※垂直落下式ブレーンバスター 他

<https://www.ddtpro.com/schedules/19294>

動画配信サービス『WRESTLE UNIVERSE』

⇒<https://www.wrestle-universe.com/ja>

※視聴には会員登録が必要です (有料)。課金登録初月は無料となりますが、初月無料対象月は退会することができません。翌月以降、退会が可能です。予めご了承ください。

<今後の出場試合>

■「STAND ALONE '23」

2023 年 4 月 15 日 (土) 開場 10:30 開始 11:30

会場：東京・後樂園ホール

出場：荒井優希 他

※青木詩織 (SKE48) レフェリー・デビュー

■東京女子プロレス OFFICIAL HP
<https://www.ddtpro.com/tjpw>

■SKE48 公式 HP
<https://ske48.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ
株式会社ゼスト
E-mail info@zest-corp.com